



# 市人権講演会「地球のステージ」に感動

## 困難の中でも命を輝かせる人々

### 音楽と映像で学ぶ

【関連記事1ページ】



宗像ユリックス・ハーモニーホールで昨年12月21日、「むなかた市民大学ゆめおり」と市の協働で人権講演会を開催しました。協働事業は今年で3回目になります。今回は、現役医師でNPO法人「地球のステージ」代表理事の桑山紀彦さんを講師に招き、世界の紛争、災害の地で出会った人々の輝きを音楽と映像で伝えてもらいました。

また、同時に、障がいのある人の作品展やバザーを開催。会場は温かい雰囲気につつまれ、障がいのある人への理解や社会参加を推進することができました。

問い合わせ先 人権対策課 (36) 1270



「人権は人間に興味を持つことから」と語る桑山さん

#### 講演の主な内容

「人権は人間に興味を持つことだと思います。開口1番に桑山紀彦さんからこのようなメッセージがありました。」

桑山さんは学生時代、世界各地を放浪。貧困や紛争地帯では、悲惨な現実を目の当たりにしました。子どもたちの表情は明るく、たくましく輝いていたそうです。その現実を次々に音楽と映像で伝えてもらいました。

その中で、桑山さんの生き方や現在の活動を感動的に学ぶことができました。

●放浪編では  
インドでは4泊5日、機関車の運転手のおじさんに無料で泊めてもらい、貧しい国といわれていたが、聞いていた話と違うことに気がきました。

アフリカでは、マサイ族の子どもたちに出会い、黒人の顔がツヤツヤしてとても美しいことに気がきました。

中国では、北京のおぼちゃんに4泊5日泊めてもらい、言葉は通じなくても気持ちが通じていけばやっていけることに気がきました。

このほか桑山さんは、ヨーロッパ、南アメリカなど五大大陸を放浪し、自然の厳しさと人々の優しさに触れる体験をしました。

#### フィリピン編では

フィリピンでの子どもたちやおばあちゃんとの出会いが、国際医療ボランティアの道に進むようになったことや「地球のステージ」を作ろうという大きなきっかけになりました。

放浪編で周りの人から助けられたこと、フィリピン編で感謝されたことが、桑山さんの活動の原点になりました。

●この後、ソマリア編、東ティモール編、ガザ危機編と続きます。いずれも世界の紛争地域で、桑山さんが医療ボランティアをしたときの体験が、オリジナルの音楽と映像で述べられました。その中から少し紹介をします。

東ティモールでは、アカベトという少年が、マラリアで入院します。家族はみんな殺されていま

した。このような境遇ですが、この少年はすさまじく生きるエネルギーを持っていてたそうです。

また、ガザ地区では、空爆の中、救急救命士が命がけで救出活動を実施していました。

●故郷編では  
「日本の学校も戦場になるなあ」ということを感じたそうです。見えな地雷を踏んでしまうと、次の日から無視やいじめが始まってしまいうことと。

だから「世界で起こっている紛争は、決して他人事ではなく自分の学校や社会の中で起きている暴力、差別、いじめの構図とそっくりであることに気付いてほしい」と訴えました。



会場準備や受付をする「ゆめおり」障がい者施設「福岡教育大学」のみなさん



楽しくバザーに参加しています 地島小学校「人権の花」のパネル展示

#### 参加者のコメント

▼わたしは、人として親として子どもたちに何も伝えられていないようです。今日得た感動、大切なことを話したいです。  
(女性・40歳代)

▼人を殺し合うことのない社会の実現を強く思います。  
(男性・60歳代)

▼「生きる」ということを改めて感じました。僕は当たり前前に感じている命。「今」を大切にしていきたいです。  
(男性・20歳代)

#### 主催者、事務局から

宮部武文副市長  
「人権問題は多様化、深刻化しています。人権問題の解決には、わたしたち一人ひとりの粘り強い取り組みが必要です。『人権を尊重する都市づくり』にこれからも協力をお願いします」とあいさつがありました。

木村秀子さん(市民大学ゆめおり事務局長)  
「人権を堅苦しいものとして考えず、希望ある明るいものとしてとらえていきたいと思っています。また、今回福岡教育大学の先生や学生、障がい者のみなさんにもスタッフとして参加してもらい講演会を作り上げました。ノーマライゼーション(障がいのある人もない人も共に生きる社会)づくりをイメージしてもらえると幸いです」などの報告がありました。

今回も市民のみなさんの、たくさんの方の参加と協力をありがとうございました。



#### 市から

#### チェーンソーの目立て教室

市では、県専門技術指導員による同教室を開催。チェーンソーが切れにくくなると、目立てをせずに歯を交換している人が多いようです。目立てができれば歯が長持ちし、経済的で作業効率も上がります。参加無料。

日時 2月25日(金) 午前10時～正午

#### 市民アンケート調査に協力してください

市では、市民のみなさんの普段の生活や考えを調査するため、市民アンケート調査を実施。その意見を今後のまちづくり

#### 人づくりでまちづくり事業

#### 発達障がい支援団体の啓発映画上映

同団体「あったかママすぽっと」が開催。

●日程 3月4日(金) 午前9時30分受付、同10時上映

●上映時間は1時間43分

●場所 市民活動交流館(メイトム宗像)・多目的ホール

●内容 「ぼくはうみがみたくなりました」と自閉症の青年が教えてくれた大切なこと…心がすこし優しくなる感動のストーリー。

●対象 発達障がいに関心がある人

●定員 先着100人

●料金 500円

●託児 1人300円(5カ月～就学前)

●先着10人

●申込方法 2月25日(金)必着で、①氏名②電話番号③人数④託児の有無(子ども年齢と人数)を明記して、同団体へメール = hotmana@uma.doglog.jpで申し込む

●後日受付完了メールを送信します

●問い合わせ先 あったかママすぽっと(高原) (32) 2331

